

～読んでみない？こんな本～

三びきのやぎのがらがらどん 北欧民話

マーシャ・ブラウン絵 せたていじ訳 福音館書店



「むかし、三びきの やぎが いました。なまえは、どれも ガラがらどん といいました。

あるとき、やまの くさばで ふとろうと、やまへ のぼっていきました。」
山へ上る途中の橋にはトロルがいますが、そこを渡らなければなりません。
そしてトロルはやぎ達を食べようと待っています。やぎたちは橋を渡ることができるのでしょうか？

1965 年に日本で出版されたこの絵本は、今でも子ども達に読み継がれている 1 冊であります。小さいやぎ、中くらいのやぎは、それぞれの知恵と機転でトロルと渡り合い、大きいやぎはその勇気でトロルに向かって行きます。この北欧民話にマーシャ・ブラウンの力強い絵が添えられていて、昔話の雰囲気を損なわずにそのまま伝えてくれる大変印象深い 1 冊となっています。また単純なお話しだっても、それぞれの方法で困難を乗り越えるやぎ達の姿に、読者が満足感を得ることができるのも、この絵本の魅力だと思います。

昔話や民話は耳で聞く楽しみもあります。「太陽の東月の西(岩波少年文庫)・北欧民話」や「日本昔話百選(三省堂)」もぜひご覧になってみてください。